

近畿おかやま会の活性化に向けた検討報告書 (④元気サロンの開催)

<令和3年3月25日役員会報告資料>

【検討テーマ】

- ・テーマ④「元気サロンの開催」

【検討メンバー】(9名+事務局)

(R3.3.24 現在)

	当委員会役職	県人会等役職名	氏 名
1	委員長	副会長	安藤 幹雄
2	副委員長	副会長	延原 健二
3	委員	常任幹事	石井 サト子
4	委員	〃	福島 三雄
5	委員	〃	船 曳 一成
6	委員	幹事	武本 錠治
7	委員	〃	中村 猛
8	委員	〃	平松 毅
9	委員	〃	三宅 一史
10	事務局	副参事	武本 輝雄
11	事務局	主事	矢部 祐輔

* 3月25日付けで中塚賀晴氏が委員就任

【現状と課題】

- 会員同士の交流を目的に、広く一般会員を対象とした行事（セミナー、懇親会）である。以前は役員を中心に会員の中から講師を選任していたが、近年は外部講師を招聘する傾向が強くなっている。
- しかし、外部講師を招いてもセミナーへの参加希望者が少ない状況が続いており、開催方法や開催時期の見直しが必要となっている。（役員の負担軽減等を図るため、次回開催は、役員会との同日開催の方針が前回の総会で決定されている。）
- 14年間にわたって取り組んできた事業であるが、取り巻く環境も変化している。これまでの開催方法や成果を検証した上で、開催の趣旨を今一度明確にして、会員の共通認識の下で開催していく必要がある。
- 新型コロナの感染再拡大を受けて、懇親会の開催方法も検討する必要がある。

【基本的な方向性】

- 全体（セミナーと懇親会）を通じて、会員同士の交流が深まるよう内容面での工夫を凝らしながら、柔軟に実施方法を検討していく。
- セミナーについては、「①娯楽性を重視した内容」と、「②勉強会としての側面を強調した内容」の二つの方向性が考えられる。現実的には、社会的に大きな話題となっているテーマや、食・健康、スポーツ、音楽など、会員の関心が高いテーマの中から、その時々で最も相応しい内容を検討することが妥当と思われる。
- 講師の選定に当たっては、著名人の招聘にこだわらず、会員等の中から選定することも視野に入れて、候補者のリストアップを進める。また、岡山から首長等を講師として迎え、岡山の各地域の実情を勉強するとともに、講演終了後は、講師と会員の交流を深めるといった方法も考えられる。

【当面の対応策（令和3年度）】

- 令和3年度事業計画では、冬季役員会（令和3年3月25日開催）との同日開催としているが、感染の終息が見通せない状況を踏まえて、元気サロンの開催はいったん見送ることとする。（役員会での報告事項も多く、時間的制約も考慮）
- 次回の開催時期は、総会の決定どおり、役員会との同日開催を基本とするが、感染動向等も注視しながら別途調整する。（令和3年8月初旬の役員会と同一日を想定）
なお、講師については、感染動向が見通せない中で、外部講師の招聘はリスクが大きいため、現時点では、会員の中から選定する方向で調整する。（会員であれば、急なキャンセルがあり得ることを承知で引き受けていただける。）
- 講師の選定に当たっては、当委員会で数名の候補者をリストアップ（事務局の案＋各委員の推薦）した上で、協議・合意の下に適任者を決定する。
- 令和3年8月の役員会には、一般会員の参加枠を10名程度設けて募集することを提案する。（一般会員のチベーションを高めるとともに、県人会行事への理解と協力、参加意識の向上を図る。）
- その他、with コロナの状況下、講師の選定方法や懇親会のあり方など、当委員会で適時適切に実施方法を検討する。

【中長期的な対応（令和4年度以降）】

- 上記の検討結果に基づく方向性に沿って、次年度以降も講師の人選や開催方法を決定する。
- 開催後は、参加者の感想を聞くなど、会員の意見を把握しながら、「イベントが全体として魅力的なものになっているか」、「会員同士の交流を深める場として、もっと良い方法はないか」といった観点で継続的に点検していく。
- 当会の活性化を図る上でも、若い世代が魅力を感じるイベントにしておくことが重要である。このため、若い会員からの意見も十分に聞き、その希望を取り入れた企画内容としていく必要がある。
- 長期的な課題として、活動が活発な他県の県人会や各地区県人会・同窓会のイベント情報を収集・整理しながら、近畿おかやま会の全体事業の中で、元気サロンの位置づけや開催方法、開催の是非等を検討していく必要がある。

<参考資料>

これまでの元気サロン（第1回～第17回）の開催状況は別紙のとおり

【元気サロンの開催状況】

開催日程	講師・演題	開催場所
第1回 18. 3.27(月)	藤田 温 「人生の転機」	綿業会館
第2回 18. 7.21(金)	石部修平 「私の持論『多難は強運なり』」	阪急ターミナルビル17
第3回 19. 2. 7(水)	梶並溢弘「ピンピンコロリをめざして～いかに元気で年をとるか～」	〃
第4回 19.12.19(水)	三吉 暹 「トヨタウェイのグローバル展開」	〃
第5回 21. 3. 5(木)	高村順久・久富義郎・宗高英治 「日常生活Q&A」	〃
第6回 22. 3.22(水)	石井サト子・大谷邦郎 「戦国武将と茶の湯に学ぶ『もてなしと『ふるまい』のヒント」 山下興亜 「昆虫から学ぶ集団知」	〃
第7回 23. 3. 4(金)	長代厚生 「ビジネスから学ぶ情報化社会」	阪急グランドビル「白楽天」
第8回 23. 7.27(水)	井上 信 「原子核・放射線と原子力」	阪急ターミナルビル17
第9回 24. 7.20(金)	古川國久 「アコーデオン経営を健気に！」	〃
第10回 25. 3.27(水)	薬師寺 雅文 「阪急百貨店の物産展が売れる理由」	〃
第11回 26. 3.19(水)	藤原 充弘 「災害は備前心で減災へ」	〃
第12回 27. 3.12(木)	藤田 茂信 「岡山県の保育史を語る」	〃
第13回 28. 3.11(金)	岡 昌治 「ソムリエとワインを楽しむ夕べ」	リーガロイヤル
第14回 29. 2.27(月)	利守 忠義 「岡山地酒の会」	堂島倶楽部
第15回 30. 2.28(水)	古川 國久 藤井 義和 「岡山県が生んだ幕末の学者「山田方谷」」	ウェスティンホテル大阪
第16回 31.2.27(水)	大原謙一郎 「文化は万能ではないが無力でもない」	大阪倶楽部
第17回 R1.3.3(火) ※中止	マジシャンAkio 「MAGIC NIGHT ～全日本制覇までの道、そして世界へ！～」	ホテルグランヴィア大阪

※第17回は新型コロナウイルス感染拡大を受けて、開催中止となった。(申込みも非常に少ない状況であった。)